

1年生、電子技術者への最初の一步

電子科の「工業技術基礎実習」について紹介します。

電子科の工業技術基礎実習は4パートに分かれて行います。各項目について簡単に紹介します

1. 「電気計測」：オームの法則など電気の基本的な事象について実験で確かめます。
2. 「工作実習」：回路計（テスター）を作ります。2年生以降で実際に実習に使用します。
3. 「情報実習」：ワープロソフトと表計算ソフトの使い方を学習します。
4. 「プログラミング実習」：基本的なプログラミング言語（C言語）を学習します。

の4パートで行っています。

4つのパートにわかれて実習を行います



工業技術基礎は、工業科の授業の中で、技術の基礎基本を学習する授業です。ものづくりを行う上で最も大切な、安全で効率よく作業ができる環境「整理」「整頓」「清潔」「清掃」「躰」の5S活動を通して、ものづくりの「楽しさ」「やりがい」など目には映りませんが工業人としての精神を学ぶ授業でもあります。電子科の実習は3年間関連した内容を学ぶことになります。1年生の工業技術基礎はその入り口となる科目です。3年後、立派な技術者に成長するためにも一生懸命学んでほしいと思っています。